ぬ。悠久二千六百餘年、その寸 心理ある歴史を概承した榮譽あ

戦争には敗じて勝たねばなら

疑して相解つのであるのを思ふ の任務を自覚し、その爲に焦層 とき、銃後もまた食ふべきあく

せぬもの、教育上絶對に必要と

せられる程度の物も、これを決 祖先から解はる物も、愛玩の物

送へ協力 重要物資輸

い者と難も、手を束ねて傍観す

つとして、重要物質輸送に協

をなるいる日常生活を持たねば

において保存を特に希望

く、勝つ爲に全力を傾け

勝利の爲の金屬回收

国際命に治したるものは昭和十六年十一月より昭和十八年三月までの間において鄭蔵師が立る塔長の一郎に兼置省会裏(九月二日)午町零時、本日大東部殿等海域殿が新士に對し殿が行城の御沙城を続したり、今

慢賞の榮、百七十一

してうち殊勳甲として経営せられたるは海軍少將今里博以下百七十一名なり

者殁死争戰亞東大

智では、1日 十六年十二月から本半三月まです。て印度洋方面で出烈大阪死を落け、少路、安然民館店)程、勇士は大東部威勢の緒域だる昭和(の各作成に参加し続くの武戦を暦)功二一旭二一

一名の多きに及んでゐる

少將 今里 博

十六年十二月から本年三月宗でマ

察照長同國々防副大臣ピー・クリ

韓返費 1 菱一部辺攻を呼流す 一排部の物鑑力を傾けて過ぐる六月 レンドバ鼠ならびにコエーギニヤ東側に「小野田同」 る戦光波は多大の機転をも眺めず | 世日南大平洋ノロモン群島の一時

島東北部の一地點ナツソウ酸に同レンドバ島ならびにニューギニヤ

ニヤ戦線わ

が將兵奮迅

【東京電路】 一日末明朝米梅多數 「わが木土もまた破機の木材的宗職」にある。元マルナー・背、こ野・「たから立文寺」の入れたのである。 届してある。元マルナ

| 中島| 東南方約二千キ| 東南方約二千キ| 東南方約二千キ| 東南方約二千キ| 東南方約二千キ| 東南方約二千キ| 東南方の一番

大本營發表 (九月1日十八時十五分) 本日未明敵機多敗南鳥島に 來襲、

島エオデッミ ABA 大 平

身近に威得す、敵空襲

は敵は艦砲を以て陸上を砲撃せり

隻撃破炎上の戦果を難げた、

機を叩き落し敵船團に爆撃を加へ、巡洋艦一隻を大破、驅逐艦

この日の配置においてわが方は自爆一機、未除潤二機の徹底を出した

交殿は郷に続大なる遺獣や戦へてある。すなはりわが、海登3部隊は八月卅日早期豊極神治せんとを国してあるが、その「都度、わな曲上部壁の郷琉とわか調験海撃部壁の有数郷原神治せんとを国してあるが、その「都度、力な曲上部壁の郷琉とわび調験海撃部壁の有数郷

隻を炎上

め、金銭協議したが翌卅一日には 連合の編隊を以て敵上陸地點附近の

ビロア方面に 補給をせんと行

艦一隻

する陸鷲―西南太平洋上にて(蟹編輯編記)



【東京電話】決威下わが在郷軍人

王 ポリス 三世の 逝去を悼む 雪

動を許さない の機を狙って の機を狙って

ヤスパース著

豫定價

*

阑

10

元創

壓の駿翼

殿を交へて、 簡極参謀長佐 の難災配念日

社

(刊新)

選書養敎の日今 社材教

學校

新

歐

洲

【東京電船】飜響挽回に必死の破 | 主張の限面をかなぐり捨て入船・職 | 庭暦なる都書 米英は、配前口解にしてゐた人道一國市民の大量殺戮を企場する非道

活か

せ大震災の經驗

あれば憂なし

息

855

獨逸語文

法

整

理ノート

八島、 O柱

送音

三著

| E ウ博士 交曜放送

京電店】バー・モウビルマ國

る日まで日極附國民は東亜十億の放送を行ひ東亜新秩序の建設され

會商トイラ藤佐錦本駅谷工部

タイムス出版社・新刊重版書 自 獨 獨逸語慣用 (增補 逸 修 語篇 新 版 獨 句11000 他來よりも約五十頁 骨補し完整 O 逸 00 4.97 語 唯子木·小出著 小原度正式 鹿子木・小出著 二者

東京京福本規可 8 ノ 1 7 振 奪東京 6 1 8

本・ロップの は 日本の を は 日本 アラベスク できる 終りの薔薇で記 歌·養服 社 森 昭 共产 斯· 京東

建設 經 東京都帰田區 神保町二ノ六

一杉書店 ^馬〇智県本語

格の 一生の仕事である人格鍛錬の方法と目 一生の仕事である人格鍛錬の方法と目 一生の仕事である人格鍛錬の方法と目 一大の練 継法」本着学表書が時代第人物」 一大の操 継法」本着学表書が時代第人物」 一大の操 継法」本着学表書が時代第人物」 一大の操 継法」本着学表書が時代第人物」 一大の操 継法」本着学表書が時代第人物」 一大の操 継法」本着学表書が時代第人物」 一大の操 継法」本着学表書が時代第人物」 一大生がの氏法」 同当時書書。實力を伸ばす」 一大生がの氏法」 同当時書書。實力を伸ばす」 一大生がの氏法」 「大生がの氏法」 「最も 夏素日本人・新教芸 と 知 る」 大生がの氏法」 「大生がの氏法」 「大生がの氏法」 「最も 夏素日本人・新教芸 と 知 る」 大生がの氏法」 「大生がの氏法」 「大生がのため」 「大生がのため、 「大生がのため」 「大生がのため」 「大生がのため」 「大生がのため、 「大生がっため、 「大生がっ 京東替版 社 材 教 郷本都京東

常の具體的生活との 格の

太陽の誕 ニィチ ・チェ 生と死 根本思想 · 黄 個 二 園九〇 〒11〇

施設及び回收物資指定

0

戦局を支配 心兵の火力

世能によって選ぶから、第一發目も、天候や大砲の網とか、砲戦の

秋田證券

労力力 収結!! 資集

打開白鳥敏夫

標小沼洋夫

稻作に「土瓶水」で≧効果頗る大

賴みは中旬迄の雨

取の主豆であるが、耐溶がことま、砂されつつかる、第一次世界大阪 数力を整卸する 地次な自己版を演ずるか長こそは、歩にようて耐兵の存在が然々重要 むて・悪くそとこ

戦用物を破壊する强い火力を購へ

活躍などが目立つてある大型

電氣事業の統合

本月中に一切を完了

杉村マグネ協力委員長視察談

先づ技術に習熟 世(江界、漢江、南水、北水、朝 | 嶽瀬縣の原定を印き同様中置委員中島の電力統制は受命會社をる五一である、若し解決国職の場合は朝

狙ひは生産の増强

局图 泰國 政府は八月 廿一日

金聯設立滿十 有價證券三億圓を保有

現代科學が産ンダ

女性疾患治療界へノ

せ練成の徹底を期することに致し

ない。もうを置かれ

特許土持式架空索道

江 道 株

ミスト

ロン語・関

男祭月經 不順に











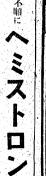






















、人元、 切り株式會社玉置尚店出籍 東京・大阪・奉六・北京出籍 東京・大阪・奉六・北京出籍 東京・大阪・奉六・北京 は 製 築 所 造元 二省

林課長、福

そこで私か

は、一種し並めて行けば道路の織立。 本人がある 大田 大田 一方の東郷を 私共の物へでは大胆一万の東郷を かい 上げれば無限の無いことであるが

國體の本義を體得

券務の現況と仕奉除歴覧

職場に於ける軍隊組織

指導を興へるとに依つて國民の協にそこまでもつて行く組織と強い

蓸 新日 祖 日 神 日 日 神 日 九 一 報告 7 日 四 明 日 日 神 日 1 日 神 日 1 日 明 日 日 神 日 1 日 1 日

京 東京市蒲田區古市町二九二

靈前に捧ぐ眞原航空士の徴衷

なを頂る機型場託、明鮮航空社長

じひ一日本社を訪れ金二百**個を**

も顔面、左腕を鳴つき途にタンペ

む屍と健功を図てゝ取つた半期の に供して下さいと申し出た、概象

急り出さればならぬ。本社は右目的を以て、朝鮮遺跡航空別と相提派し、第一国金額殷勤機等というのはならぬ。本社は右目的を以て、朝鮮遺跡航空別と相提派し、第一国金額殷勤機等を求さに規決戦下の集相であるのだ。 唇々は如實に體験した。航空知識を適民が持つてゐるか否かは一颗の優劣を失する。これは 今回の大東亜威事、欧洲の威局において如何に突軍の活動が一國の運命を左右してゐるかを

華の際同じく微意を寄せてをり

時九月廿六日(日)県天日曜日曜郊町 京城第二飛行場 (安夏) 「食は各自物学し、 傷質機は発行せるる事)

| 本社||見學 (九月|日) ▲ 本社||見學 (九月|日) ▲

って現れるか、期待の的となっ

てゐる

藥純品度

朝鮮國防航空團 京城 日報 社

本是與簡單界文金單

回全鮮

地下を探る、挺身隊

尹から鑑んで原道すれば故三 兵務防衛隊長列席し、古市府然郡長、独田府理事、際原府 尹、千田府鄉務郁長、伴府工

式を行つた、この日古市府

眞に武門の誇り

員を感激させてゐる

殊勲今里少將遺族の感激

まなほ嫌い浄財は緻々と寄せられ

開封すると、小生廿日間餘に買っ

描

宮崎から海洋筏

但し十四等二十組、五四年十組に

日午後一時から正路で保選

以て御歌及び御菓子下賜の御 を慰め且遺族散婚の御思召を

遺族に御仁慈

きのふ府廳で御下賜品傳達

東京電話】大君の殿の御棚と剪

お召に備へて

成會を開いた、即ちまつ國民廢校

戰時報 一等當級

を記了して、日藍山道過『あかつ

は今次支那事機能 長くも畠后壁下に

された光祭に汚點を残してはな

しを崩つて立つ

民秘力朝鮮緊盟に移到した配念事機長制の酸財を収金に現して、國

麗し美談一

献金の使途

氏母か十一名は恭しく孫受

睛の門出に温い總督の激勵

る。次いで熱質と細酷に挨拶し

二殿下廿年祭

御内々に執

のしかかる航空日本の場合が一般設分子となって仇骸米國に たぶる空への熱魂は一個航空 が一億國民をゆすぶり起しひ

気のなどと思き渡るとき來る

第四回航祭日である、この

就だりと大名への情報を喚起 少年恩徒に、君こそ次代の荒

海出の理解を深くするため朝

し半島二千五百銭航空池町を 即ちこの日廿日は金鮮各戸

では大學など、中等級後男子のは大學など、全鮮主要都に

全鮮に繰展く絢爛の行事

へ凝る航空週間

鮮國防航空間を中心に練督府

京電路】最災記念日の一日は 富里女王、山牌岛的重記

、この日各官家では時間を思さ の名裂であるとともに徹底側の量との中年一月十七日スマトラ酸パカ・水三日の後オランメ兵の自場攻撃・原に続きする半島の続いとしてい、て勇猛鬼戦・戦の心臓を繋からし、響、原住民に助けられ傷を戦った。 荒鷲の武勳讃へ |運転山路野山面北山河| 田蔵物級とともにペナン、アイル

静の武勲は故山駅間北 輝を遺跡なく疑迦したもので大東 **頭岬の領物放出し最大、烈々なる師碑は天明島國町人の精 中職を治せ十数機を解映したが無郷く9年間の類7 加掛」らせてある、まことに近山大協の「として風郷出動・地上の郷機に必郷が9年間の親さる際質に別地を押している。または、大小飛行島が難にも部隊に依頼**

の策を施して威時無難に不安のな。牛物、黎刹などの取扱ひ方を親切の策をの確保については電局が萬金」ほうれん草、穀、玉穀、にら、ふき

蒔きませう秋のお野菜

蔬菜栽培に當局から、 虎の卷~

來るだけ租子の節約を殴って頂

機能する者もあるので、網

洛し、全解の郷山、 製織物塩産運動は一

質に非常増産に起ち上づた、こ



をかけ北の島に南の海に痛 の雲が翔り、アツツの塊似

から廿日迄を航空週間とし宵(に對しては航空に関する期心即を指き起すが半島では十四)知識を一致と深め特に帰女子

般人に對しても航空に関する

府城已國民經力明鮮職別協力

のもとに盛大な記念行事を催

熱魂大空

歌指頭官として太平洋に続々たる 歌がを聞て印度洋方面において肚 歌がを聞て印度洋方面において肚 歌なる感覚を強げた事歌翻訳・際 【大村電話】 旅師甲切三旭二の恩 野を前つてあるとこでせう。早 ふため去る廿五日最初の理念版 「要認の可能さに感謝しと転嫁 たぞあり他家を扱った事物数と の、理図の明となって直図の名 たぞあり他家を扱った事物数と の、理図の明となって直図の名

数切丁率に、どんな場合 でも不愉快な印象を興へ △配給品の販賣に ないやう

△清潔を重んじ衛生に注意 館従業者の場合

盛しませう

△お客の求める物が品切れせう の場合も親切に隠待しま

和歌に堪能で戦中から家庭に独ら

航的な武人であるとゝもに漢詩、

比の海軍魂を遺憾なく軽揮してゐ

犯罪を歐然起って一掛すべしと全 な手

城は戦町の架旅館で千三百回詐取 を押して左の如く眩話を競奏した。像經濟學察官の一掃

の名葉

まなりを

鏡をとる、しかもその方法

ペピーサ

營團が貸家

一、待

時影をひそめてゐた嗚屈察官が一個那個紹識長は一般民衆に劉戒を 街に蔓る偽警官 断乎一掃へ一般の協力要望

||四十一圓|||錢

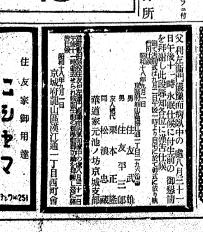
助一ノ八三の野無級工學の音の送局・官等・密心・音響・密心・音響・ 才技師



陈式曾社员城工場



ただ











すると四君共に非常に感滅、これ野明、 直ちにこの旨を戒語で適適 時所遊儀等を励防献金する 申し合せ、こゝに躍はしい美骸ニ が様

來城の潮洲國立新民學完訂日盟の 月々二石五斗を超過減入の他同月に対し四十六人分の武給を申請し

北京行・戦闘・の一旅客から、と「総の以下も免れないが、これまた大局京城地方総貨高長の許に一日」ととは官へ時間下人材不足勝で按 鮮鐡四機闘士の隱れたお手柄 な特配を受けた他高周波等成員、福泊に對し、口以を示うけて不當

城に城心に堪へず雄少で失聴です 中支班上海へ西景の

を同別単の 巡幌手に 御渡し下 氏一行は三十一日午前配阿及空路

中古衣

注税・受政のため出態中の 岐取引 残しました。之は軍事・富然のと) 医林正は、玉川成一の四機観士と東氏は山林王の宮崎県内神池に揮(も技順観めて観光で快的な成行を) 有脳が治郎・国治常雄・京忠機綱

國防献金 本社寄託献金

· 國坂勝隆▲十個等稱道管川屬根校 五個全國鄉州魯領城町本組寺住海 五個全國鄉州魯領城町本組寺住海

株式會社南大

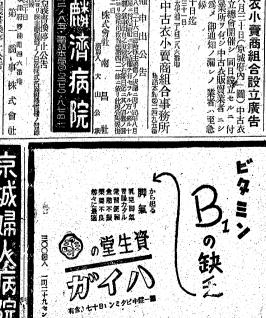
22 山昌

百一十圓三十二錢

条計 七千八百十五圓

成養 島 力づける 仁丹 常用!





職募求

員

家具屬更生 | 鑑海醫院

一、應募資格 777

定法

)學歷八國民學校四年修了程改以上

(1) 年齢へ帰土六級以上、三十五級末婦等人の高具人他ニにはセンムとは上秦の 4

集人員を関する · 集

永登浦朔日會例會

銃後防火に新たな決意

きのふ博文寺で歴災大法要

意的火酸素の確立をもつてしたない。原ひ出来きる火の災害も今日の防

と共に数別場所以下傾居入電員百名の参列あり、太鼓

するため府内における半時人有限

六十二分、五萬國以下では

區行改を改善

府では一日午後二時から府委

では四個三分、一周回以下では

長の打合せ

よくぞ向上した

城では八月廿一日から三日間

も後一月とないので一日からは脚田即守を初め竹城・東、伊縣内務

交通座談會

・ 學校生徒の | 時半から城大艦駅部第二職搬監に | 東行、明

日覺めよ有閑人

京城に遊ぶ家庭が二萬三千戸

祖し自然の凡ゆる駆慄件を克服しば自給肥料の茶堆肥反當三百世製

週週してゐるがこれが生態期間

四時半すぎ戦曹した

|自給肥料の素堆肥反常三百世数||長、濱田理事臨席、各届役所の楓||条砂|| 宮川郎では食風均盛の鑑|| 員會鑒に古市府式、千田府織務部

富川郡の堆肥増産

を受き招集し、交通・歌画を開催の を一時から同報質調整に懲内各単 後一時から同報質調整に懲内各単

肚丁機甲訓練

及當り、三百貫

我が家の寳も車に積ん

題回收運動を開始してゐたが、こ一器など生活必然品まで一點の惜し 金屬回收運動に龍山區が先陣

器など生活が拠点まで一覧の他) 品を取りまためて燃料(物で)人戦 はななく使出 「日にはご四 「・1、三町 書を 関節へ戦がの事態ををとる、な体はじめ・町宮がこれら赤銭こも

競人防火優秀班

十月に各區對抗注水會開く

國路全解運動が全賦準々補々

増しに弱家るとき、京城府では府、決職下、防空、防火の重要性が日

の寄りがどうさりこもうたは間数(に担る路景域を版)て郷後の決策年の寄りがどうさりこもうたは間数(に担る路景域を版)て郷後の決策 誠
こ
め 南方戦線へどつさり送らう て慰問袋

で、府内路十甲、同協館中央機甲

通じて配布することになってをい

本町署へ寄託献金

彼は心身が緩々勝り成つていく樹 それからまたにしるが蛭加した。

やらなくては

裁九月生募

たてて、自分のロッカーで戻つて 子類館の料理者が、光頭をふり

加太郎は、いつまでも窓に凭れ

その感銘の赤心を慰金にこめて府

日午後一時世分ごろ能山原 員車に刎ねらる



器師數名を求む 別報理等制度 行列報理等制度 可以表面等

松宮特計事務所

また。 を記述を表する。 を言述を表する。 を言述を。 を言述を、 を言述を、 を言述を を言述を を言述を を言述を を言述を を言述を を言述を を言述を

朝鮮銀行庶務課 賣 松 家

特許商

を表現しています。 の一般のでは、 の一を、 の一を の一

石綿板 ジイント スパイプル 部鮮アスペスト工業株式会社 特別的に











女。每月



京

創 立

國際新華研究所 第一十四

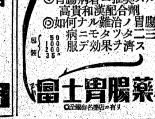
W. ST. の 精神力も體力も強い 母乳で育った小供は

引 越 荷 進 組 造 組

夢 のふるさと

では、「一般に対している。」では、「一般に対し、例に、例に、「一般に対し、例に、「一般に対している。」では、「一般に対している。」では、「一般に対し、「一般に、」」では、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、」」では、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、「一般に、」」では、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、」」では、「一般に対し、「一般に、」」では、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、」は、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、「一般に対し、「他に、」」は、「一般に対し、」は、「他に、」」は、「一般に、、」は、「他に、」は、「他に、」は、、」は、「、」」は、、「他に、

福地人ルニ石ラ月ルン島間内 本方日へな明神十二人島深久 では、シテ目が七日東三番 では、一人のでは、一人のでは、 では、一人のでは、 では、 「東三日午月公園が地 復法 基院





Œ

题科。

↑淑 英 娘 子 傳、 李琛宋知色 李琛宋知色 名 大内弘・久公司祖長大内弘・久公司祖長大内本ニュース日本ニュース

結核 (適應症) 一知 報 簡 昭 小 雪 當 即 中 尾 本 宮 かかり かっぱい きょうじゅう かり かっぱい きょう うち 内 の 方 や 脚 い 配 の の 方 や 脚 い 配 の の かり か い か と ぶ こ う り お 困 か 麦喘息•咸胃 (包括) 2000 10音 2000 50音 佐 東京大学

ルーコゾオナ 京城和中岛本町二丁目五湖市 長四岐東元 陽光堂製築合計

家的人员 、淨製糊製 性活種各 ン油皮材薬

ダー

(富豊庫在) 【ペルリン卅一日間照】 ドイツ年

神を東北に向って進む兵閥中

能扱するため國家範助は監測を質

この歌画でわが方は一機を長つた

英艦隊に命中彈

獨長距離砲陣一齊に猛射

|関原大平洋〇〇正地世||日间型||アラフラ洋のアルイ語島マイコールに対し世日午後級収拾に臨機が承襲し、直ちにわが厳酷機は5元を邀職、空中版のへも一環を誠実。一種を参えが1年日午後級収拾に臨機

海事深會掌規定改正

拂戾し開始

に認み、潮州國政府安略と交権管別における張國務に鎌の招

敵性銀行整理 マカツサルの 敵機二機を屠るでも選撃

進攻命令下達 #*00##

【ベルリン世一日間出】ドイツが

宇垣莞爾中將

マカツサル支店分のみにつき

の銀行の手で行けれてゐたが、こ一非公式に含談を遂げたが、さら

プる加算法本年四月十八日以來部 ドンに到牾,英國外相イーデン

代理四日 殿印殿架 一六支四日 及び

ン來電=ソヴエト外務人民委員が

2 を提出したことが確認された。 図エクリスチャント世に對し辞表 の工力リスチャント世に對し辞表

隊参謀長へ

伊本土上陸

實現へ邁進總動員體制

ルP9、ボートシコルスキーF4U戦闘機計廿機を 撃墜、他を撃破、撃退した、おおようの闘機隊は直ちにこれを邀撃、熾烈な空中戦を交へ、コンソリデー テット2爆撃機およびベブーゲンビル島東端方面に戦爆連合約五十機以上の編隊をもつて來襲したが、 わが海軍戦闘炎率600億里1回回」ソロモン群島方面のわが前進基地に對し反攻で試みる 敵は卅日午後

在電子前中將の創任者橫江中將田 結構是1取有部出土,於此次勝の制 任統法局是10 然是 (股音海軍中將滕田利三郎,於日少) 使賴第本日

航空局長官 山田 良秀

ビルジ五十機を海鷲邀撃

海田県 宇垣 完爾

に小松茂氏 航空局長官 に立う米國は、近路、軍場品の生 ひつくあるのにこうを煮やし、 搬米英、その中でも今わが正面 | 非常に大なる敗れた、 密生とを

本運動に對する理解と協力とを求

機解は、散て全難の鎖山酸

を動物非常均蔵強制運動に入るに でお話数したい でおる数したい

をすくめる程度象のいて循がつて「蝶つて見えるのとの姿勢はその質「紫がを切給すべきがた的なる角象「最近が上は前を直より「下は一長」い、戦闘の地域と関ひ被動車器は「様である、かくして目機関ではいり、又自本兵の突撃に対しては身」ようてだらしなく見えるのと引き「印跡島の南部に対してその原料・「即める職果の現場に力められたい」であるのは彼心より感謝に歩った「何んとかして御助特に動ひたい戦り、又自本兵の突撃に対しては身」ようてだらしなく見えるのと引き「中跡島の中部に動したい戦り、

最後の勝利へ

木大東亞相在滿首腦者を激勵

は世一日学後二時五十分今【新平世一日四世】 昭木大

角醋三間

朝日座

五時半らり

この放送は直ちに鉄電され間日午 | の堅持を頭側(三) 雕城駅和の稿 | に、何の爲にといる理由目標が顕 | でない、この意味から然に照い対 が協力を要名すべく午前六時世分より約世分間に直り京城中央放路局のマイクを通じて大衆に呼びかけた

の中に明確に釘付けられて居らな

小磯總督の激励

甲諸品生産の基礎をなすしても本運動に對し精神的交換を

増産で覆滅せよ

言集を寄せ、同時に一般官民に對 能を以て 國民總力 戦を戦ひ扱けと

の皇野将兵に劣る所なき世任職」身報閥の威威も大である野野



名 變

株式會社三

左記ノ通リ 變更攸候川此段



とを切取致す者であります

の交流 総動員物資

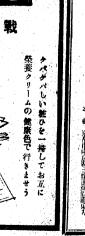
張 務 所 所

李三國石炭工業株式 會社 東京城區 土 井 城 東京城區 山山市山大山山山 東京城區 山山町山土市 36 町 東京城區 山山町山土市 36 町 東京城區 山川町山土市 36 町 東京城區 山川山 16 町 東京城區 16 町 東京城

名變更謹告 古中·興南·維市·大東·伊大阪、若松、佐世保、即



1





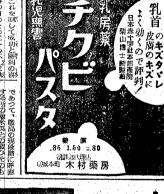
約して効果的につかひませず

・ 實性の工場を展示すると同一場に歌り歌らんことを押待総すの であります 重要産業は今や戦闘團體

増産、決戰に連る































農作物 △1 息の努力

き竪を出さればならぬからしれぬ。ねばなるまい、









れ造艦

篇 外餘 錄 諸葛荣(豆)

一孔明の一般語であつたやうに版はれる。

ITS I





題、朝鮮医會、京城師

撃退せよ病の秋秀攻勢

切**に** チ**ノ**ナ 四**35** 日中 第一年 第一年 第一年 第一年 缺

北與水力電氣株式會開新人民發展的最近時間,但在來株式會開始了自己於難過之一個新華之

噫アツツ島の華波

の如く殴った といふ人気のあつ立人、

少佐の面影戦友が語る

故少佐の絶筆

放 躛

々伯部少佐

赤心忽ち五千圓 徴兵制へ怒濤の

全鮮金組職員が献金

合色など

寡